

どんぐり村の こみ・すく通信

令和5年12月11日発行

令和5年度 第18号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団の活動を紹介<その13> 末広学級生との交流 親睦を深める

11月22日、更別中央中学校1年生が村の末広学級生の方々と交流をしました。

前半は、子どもたちと末広学級生が6班に分かれて、けん玉、メンコ、おはじき、お手玉などの昔遊びとポッチャを楽しみました。

メンコで盛り上がる



後半は、末広学級の石井さんが中心となって中学生に「さらべつ音頭」の踊り方を教えてくれました。

今回は、さらべつ音頭の踊り方を教えます。



交流会では、いつも楽しませてくれてありがとうございます。

最後に中学生の佐藤くんから「たくさんの経験と交流ができて良かった」と挨拶。

末広学級長の篠原さんからは「地域にある文化は、そこに住む人々の絆をつくるために大事なものです。さらべつ音頭もそういう意味合いがありました。また、皆さん1年生なので、友だちと忘れることのできないたくさんのよい思い出をつくってください。」と中学生を応援してくれました。

役場の仕事 議会の役割 スーパービレッジ構想を学ぶ

11月24日、更別小学校・上更別小学校6年生が役場を訪問。役場企画政策課の八木さんから「スーパービレッジ構想」を、総務課の村田さんから「役場の仕事」を、議会事務局の佐藤さんから「議会の役割」を教してもらいました。

スーパービレッジ構想に、皆さんから良いアイデアがあったら、是非出してください。



役場は村民が住みやすい村にするために、それぞれの役割ごとの「課」に分かれて、まちづくりに取り組んでいます。



議会の役割について丁寧に教えていただく。その後、ミニ議会を体験。



子どもたちが行政を身近に感じることができるよう、分かりやすい資料・表示や体験など、いろいろな工夫がされていました。

地域の虫博士斎藤彦馬さんに学ぶ

11月22日、更別小学校3年生が斎藤さんに来校いただき、理科の「昆虫のまとめ」として授業をしてもらいました。

1時間目は昆虫のいろいろなお話。2時間目は外で虫を探しました。



虫に夢中

斎藤さんの話を集中して聞いている子どもたち